

企業や自治体のシステム構築に、プログラムを無償で公開し改良、再配布の行えるシステムである、オープンソースを利用する事例が増えてきている。オープンソースのCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を使った大規模Webサイトの構築事例として、山形県より業務委託を受けて開発したホームページへの適用について紹介したい。

当社ではWebサイトのシステム開発でいろいろな構築を行ってきたが、本格的なCMSの採用を検討していた。そんな折、山形県オープンシステム研究会でオープンソース・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区）代表取締役角田好志氏の講演がきっかけで、Zope/PloneのCMSとしての優位性、汎用性に着目し、2005年6月よりZopeの開発言語であるPythonなどの技術の習得に着手した。

商用のCMSツールは数千万円と高額なものが多く、オープンソースのものとしては、スクリプト言語Pythonで開発されたZopeが代表的なものとして

世界中で活用されている。Zopeは米国国防総省やEU（欧州連合）各国の公共組織などでの利用実績が多く、その高度で柔軟なワークフロー処理機能が評価されている。

Zope/Ploneは、山形県庁という大規模な組織内でのリアルタイム更新や記事掲載承認フローを実現できる本格的なCMS機能を評価され、2005年10月に山形県ホームページ再構築業務委託に採択された。当社ではシステム開発、デザイン作成とデータ移行作

VALUE SIGHT

山形県のホームページをフル・オープンソースで構築

企業や自治体のシステム構築に、オープンソースを利用する事例が増えてきている。オープンソースの活用事例として、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を使った大規模Webサイト構築への適用について紹介してもらった。



新しい山形県庁公式Webサイト
「子ども夢未来宣言」 <http://www.pref.yamagata.jp>

業を担当した。

山形県庁では、総務課広報室および、情報企画課を中心に県ホームページの再構築の検討を進めていた。山形県ホームページ再構築の公募の目的は、「県民との情報の共有をはかり、県民参画による『百年後にも誇りに思える元気な山形県づくり』を進めているところであり、多様な機会を活用した広報を強化し、県内はもちろん全国そして、世界へ向けた山形のPRが重要と考えている。そのため、このたびインターネットによる広報を強化するためホームページをリニューアルし、県民との情報共有・PR力の強化を図ることとした」となっている（山形県公募の要件書より）。

そこで、当社がZope/Ploneを使って開発したシステムの特徴や機能を紹介したい。

- PloneのWYSIWYGエディタを使用し、一般的によく使用されるOfficeアプリケーションのようなページ編集を実装した。
- 決裁者が作成中のドキュメントを確認することを可能にした。また、そのドキュメントを決裁権限に応じて編集することを可能にした。
- Ploneはそれ自体がW3C XHTMLおよびCSSに準

庄内



株式会社管理システム
専務取締役

渡部 幹也

拠して作成されている。これは同時にPloneを使用して作成された文書は、作成者が特に意識をしなくてもW3Cに準拠するということの意味する。

- Ploneでは公開期限を設定することが可能である。設定された公開日時・終了日時に合わせてコンテンツをリアルタイムに制御できる。
- PloneではCSS（カスケーディング・スタイル・シート）を使用している。外観デザインが統一されているため、作成者はページの本文に注力するだけで、作成したページはすべてヘッダやフッタの外観が統一される。また、フッタなどの記載情報に関してはカスタマイズにより特定の情報を掲載する機能を付加した。

- Zopeではコンテンツはすべてオブジェクトデータベース上に格納される。Webページは格納されたコンテンツのディレクトリ階層に合わせて自動的に生成されるようにした。
- NTTドコモ、au、ボーダフォンの3キャリア対応携帯電話用ページ作成機能を持ち、コンテンツ・マネージメント・システムにより携帯用コンテンツとして作成されたページは、携帯電話のブラウザ機能を使用して閲覧することができる。
- 「意見募集」「アンケート」等のメールフォームを作成できる機能を持たせた、また、メールフォームによるデータ送信はSSL（セキュア・ソケット・レイヤー）による暗号化通信に対応した。また、メールフォームの作成をカスタマイズし、動的なページ生成の仕組みを使用してWebブラウザ上でアンケート作成を支援するコンテンツタイプを作成した。
- 災害等の緊急事態発生時に、トップページ等を緊急事態用ページに切り替えることが出来るようにした。

オープンソースのCMSは、Webサイトを安価でスピーディに開発できることから、今後、自治体や企業のホームページの再構築に利用される事例が多くなると予想される。「情報をデザインできるCMS」をコンセプトに、今後もオープンソースを積極的に利用したシステム開発に挑戦していきたい。

■ 渡部 幹也（わたなべ・みきや）

株式会社 管理システム 専務取締役。
1954年生まれ。山形本部長として4年前に赴任。
社団法人 山形県情報産業協会 幹事。
東北ITクラスター・イニシャチブ 幹事。
(本社)
〒998-0102 酒田市京田2-69-8
TEL 0234-41-1355・FAX 0234-31-5299
(山形技術開発センター)
〒990-2473 山形市松栄1-3-8
創造支援センター内102
TEL 023-647-8232・FAX 023-647-8263
watanabe@kksnet.co.jp